

新・令和6年4月

P422

別紙B

盛土材土質試験結果調査表

会社名：

製品名称：

浜松市財務部技術監理課

土取場所在地：

地区No.：

年 月 日調査

試料項目	年 月			年 月			平均	品質規格			備考
	1	2	3	4	5	6		裏込め材・埋戻し材 路床材	路体材	再生基礎 裏込め材	
土質記号							-				
粒度 53mm	%									100	
37.5mm	"									95~100	
19mm	"									50~80	
4.75mm (4750μm)	"							25~100		15~40	
2.36mm	"									5~25	
75μm	"							0~25	*50以下		
塑性指数	LL/PL										
	PI							10以下	30以下		
設計CBR	%							20以上			試料のCBR: 設計に用いる CBR:
最大粒径	mm							40 (100) 以下	300以下		
自然含水比	%										
最適含水比	"										
最大乾燥密度 (ρ _{dmax})	g/cm ³										E法に実施
ρ _{dmax} × 0.95	"										
ρ _{dmax} × 0.90	"										
礫のカサ比重	"										

説明 1. 土質試験結果をこの調査表に整理して調査を行う。
 2. *50以下とは4.75mm (4750μm) ふるい通過試料に占める75μmふるい通過分の割合(%)
 3. 設計CBRのデータ調査
 ① データの範囲：最大値(MAX)～最小値(MIN)
 ② 較差：MAX～MIN
 ③ 平均： $X = \sum Xi / N$
 ④ 標準偏差： $\sqrt{V} = \sqrt{((\sum (Xi - X)^2) / (N - 1))}$
 ⑤ 試料のCBR： $X - \sqrt{V}$
 試料のCBR：20未満の場合は路体材としての使用のみ可能
 4. 設計に用いるCBR
 ① 裏込め材・埋戻し材、路床材については上限20.0%とする
 ② 路体材については、試料のCBR値が20%以下の場合はその値を採用し20%以上の場合は20.0%とする
 5. 再生基礎裏込め材は1試料とする

旧・令和3年4月

P422

別紙B

盛土材土質試験結果調査表

会社名：

製品名称：

浜松市財務部技術監理課

土取場所在地：

地区No.：

平成 年 月 日調査

試料項目	平成 年 月			平成 年 月			平均	品質規格		備考
	1	2	3	4	5	6		路床材	路体材	
土質記号										
粒度4.75mm (追記)	%							25~100		
75μm	"							0~25		
75μm/4.75mm	"								*50以下	
塑性指数	LL/PL									
	PI							10以下	30以下	
変状土CBR	%							20以上	5以上	(追記) (追記)
最大粒径	mm							100以下	300以下	
自然含水比	%									
最適含水比	"									
最大乾燥密度 (ρ _{dmax})	g/cm ³									(追記)
ρ _{dmax} × 0.95	"									
ρ _{dmax} × 0.90	"									
粒径37.5mm~75.0mm礫密度	"									

説明 1. 土質試験結果をこの調査表に整理して調査を行う。
 2. *50以下とは4.75mmふるい通過試料に占める75μmふるい通過分の割合(%)
 3. 変状土CBRのデータ調査
 ① データの範囲：最大値(MAX)～最小値(MIN)
 ② 較差：MAX～MIN
 ③ 平均： $X = \sum Xi / N$
 ④ 標準偏差： $\sqrt{V} = \sqrt{((\sum (Xi - X)^2) / (N - 1))}$
 ⑤ 試料のCBR： $X - \sqrt{V}$
 路体材：5以下は不適
 路床材：20以下の場合には路体材としての使用のみ可能
 4. 設計に用いるCBR
 ① 路床材については上限20.0%とする
 ② 路体材については、試料のCBR値が20%以下の場合はその値を採用し20%以上の場合は20.0%とする
 (追記)

浜松市盛土材取扱基準